

第4回舞鶴かま板「絵と文字」大賞

～舞鶴かまぼこの板にのふるさとのメッセージをのせて～



<<第3回 舞鶴かま板「絵と文字」大賞作品>>

□ 趣旨

『舞鶴かまぼこ』は舞鶴市で唯一の地域ブランドとして知られ、市民にも愛されており、4年前には西鶴駅前の京都交通待合所の一角に、『舞鶴かまぼこ』の歴史と伝統、こだわりを知ることができる『舞鶴かまぼこ知ろう館』を開設いたしました。

去年は、舞鶴かまぼこをもっと知っていただき、買っていただき、愛していただくために、初めての試みとしてかまぼこ板一枚のスペースに凝縮されたそれぞれの世界やメッセージを描いていただき、送っていただき、それを一堂に展示し、多くの皆様に見ていただくことで、『舞鶴かまぼこ』の新たな魅力づくりにつなげていきたいと考え、広く作品を募集いたしました。今年第4回目として、昨年のテーマ「絆（きずな）」から、さらに発展させて「ふるさと」というテーマに変えて作品を募集することにいたしました。

□ 主催

主催：舞鶴かまぼこ知ろう館活用協議会（舞鶴かまぼこ協同組合内）

後援：京都府・舞鶴市・舞鶴観光協会

□ 応募先

〒624-0914 京都府舞鶴市字下安久 1013-11

舞鶴かまぼこ協同組合 舞鶴かま板「絵と文字」大賞係（電話）0773-75-0865

□ 応募内容

舞鶴かま板「絵と文字」大賞を下記の通り開催します。なお、募集は新聞、広報紙、雑誌、インターネット、ポスター等を通じて募集します。

応募作品のテーマ

作品のテーマは、今回は「ふるさと」とします。

応募の内容についてのご説明

● かまぼこ板は、購入していただいた『舞鶴かまぼこ』の身を剥がした板をお使いください。（『舞鶴かまぼこ』以外の板に描かれたものはコンクールの対象になりません。）

● かまぼこ板はよく洗浄し、乾燥させたものを使用してください。

● デジタルデータを貼り付けた作品等は、応募の対象といたしません。

● 絵と文字を描く画材は、油彩、水彩、アクリル絵の具、色鉛筆、クレヨン、墨、ペンキ、レリーフ、その他、その内容、技法は問いません。また、多少の彫刻も認めます。

● かまぼこ板を連結したものは無効とします。かならず一枚の板に絵と文字を描いてください。

● 作品はお一人様1点といたします。

● 本応募規定に基づいて、かまぼこ板に絵と文字を描いていただき、十分に乾燥させてから、他に色が移らないように紙などで覆った上で、作品についての内容説明等を記した書類と同封の上、応募先にお送りください。

尚、かまぼこ板の裏面にも住所、氏名、年齢、性別、連絡先住所、電話番号をご記入ください。（応募いただいた方の情報を本コンクール以外の目的で使用することはありません）

● 応募いただいた作品は返却いたしませんのでご了承ください。

● 入賞作品についての著作権は協議会に帰属し、作品の全部又は一部を舞鶴かまぼこに関することに利用をさせていただくこともございます。

また、不採用となった作品につきましても全部又は一部を展示や作品集などで公表することがございますので予めご承知ください。

<舞鶴かまぼこ協同組合ホームページにも応募規定様式などを掲載>

応募資格

問いません。

応募の期限

平成25年1月15日（火）消印有効

□ 賞などのご案内

大 賞 高校生以上大人の部（1名） 賞金3万円と舞鶴かまぼこセットと
舞鶴かまぼこ手形（ペア）

スクール賞 中学生以下の部（3名） 舞鶴かまぼこセットと舞鶴かまぼこ
手形（ペア）

審査員など（50音順）

画 家 山根由一（審査委員長）

舞鶴かまぼこ知ろう館活用協議会構成員

京都交通舞鶴営業所 山守貞之

けやきの会会長 伊庭節子

新世界商店街理事長 吉田修

舞鶴かまぼこ協同組合理事長 高野真一

舞鶴かまぼこ協同組合参事 辻 義雄

舞鶴かまぼこ調査隊 伊賀原政子

舞鶴市観光商業課長 砂原由明

舞鶴市民自治研究会会長 長谷博司

□ 受賞者の発表

受賞者本人には平成25年2月上旬に直接通知いたします。なお弊組のホームページにも作品を掲載させていただきます。

□ 展示会の開催

応募作品については、平成25年2月～3月に赤レンガパークにて展示させていただきます。

□ お問い合わせ先：担当者

舞鶴かまぼこ協同組合 電話 0773-75-0865 担当：辻